

ブルム社製タンデムボックスプラスブルモーション引き出し取扱注意事項

この取扱注意事項には、ブルム社製タンデムボックスプラスブルモーション引き出し（以下タンデムボックスプラスブルモーションと表記）をご使用いただく際にお守りにならないと人身事故や家財の損害に結びつくものをまとめて記載しております。安全に関する重要な内容ですので必ず守っていただき、必ずエンドユーザーの方にも表示・警告して下さい。

なお、この取扱注意事項によらないご使用の場合は弊社の品質保証の対象外となります。また、この内容が表示・警告されなかったことで発生した損害につきましては責任を負いかねます。

1. キッチンの設計上の注意事項

1. タンデムボックスプラスブルモーションは引き出し（内容物を含む）の重量や引き出しに上部から力が加わることによって下がりが発生します。（別添テストレポート参照）またこの下がり量は引き出し（内容物を含む）の重さ、上部から加わる力によって変化しますので、一概に決まった安全寸法はありません。特にケコミ収納として設計するときは、床面との間に引出の間口と大きさ、引き出しに加えられると予測される力に応じて十分なクリアランスをとって下さい。前板や引き出しが下がって床を傷つけることがあります。また、万一引き出しが下がり床に当たっても床に傷が付かない仕様としてください。引き出しの下がりによる床面の損傷等については責任を負いません。

タンデムボックスプラスブルモーションの動荷重は引き出し本体を含み 30Kg(558) 50Kg(559) 65kg(556) です。（側板レール、底板、前板、背板を含む）これ以上の荷重がかからないよう取扱説明書などに明記してください。但し、前板のサイズ・重量が極端に大きいときは、動荷重に満たない条件でも偏荷重の影響を受けて、引き込まない場合があります。前板のサイズ・重量が大きい場合は 558(30kg) 559(50kg) 559(50kg) 556(65kg)へ1ランクアップさせると、引き込み力がより強くなりますので解決する場合があります。また背板がB高さの場合、D高さに変更すると引出後部に比重を持たせることで解決する場合があります。「収納物は偏りがないよう均等に入れる」等の注意書きを取扱説明書などに明記願います。

2. タンデムボックスプラスブルモーション 558(荷重 30Kg)の対応できる、引き出しの総重量は引き出し本体（側板レール、底板、前板、背板を含む）を含み 30Kg までです。（559(荷重 50Kg)の場合は 50Kg) これ以上の荷重がかからないよう取扱説明書などに明記してください。特に間口 900mm以上の引き出しでは前板の大きさによっては、約 50Kg 程度の内容物を収納されてしまうおそれがありますので、特に注意して取扱説明書などに明記、警告してください。

- 3.加工寸法及び取付方法については、カタログ及び取扱説明書を参照して下さい。
- 4.引き出しは全開します。隣や対面するキャビネットや壁などに引き出しが接触しないような設計及びレイアウトとしてください。
- 5.底板、背板、前板の切断寸法はカタログ及び取扱説明書を参照して正確な寸法としてください。底板、背板の厚みは16mmとしてください。
- 6.受けレールのネジは4×15mm以上の木ネジか6mmのシステムネジをご使用下さい。木ネジの下穴をあける場合の穴径は3mm以下で深さは2mmにとどめて下さい。システムネジの下穴は 5 ± 0.1 mmにしてください。大きな下穴はネジの保持力が弱くなりゆるみの原因となります。
- 7.558 受レールのネジ穴は左右それぞれレールの手前のネジ穴2ヶ所、後ろのネジ穴2ヶ所、計4ヶ所を止めてください。559と556 受レールは左右それぞれ5ヶ所以上止めて下さい(別紙「受レールネジ止め位置」に従って、不足のないようにしてください)。
- 8.側部は底板の下から3.5×15mm以上の木ネジでL=270~450mmは左右2ヶ所ずつ、500mm以上は前後及び中間左右3ヶ所ずつを止めてください。
背板は木製背板取付具に3.5×16mm以上の木ネジで左右2ヶ所ずつ止めて下さい。
10. 前板取付具木ネジ用ZSF3502は3.5×20mmの木ネジで上下を止めてください。前板取付具打込み式ZSF3602は $10\text{mm} \pm 0.1\text{mm}$ の下穴2ヶをあけて打込んで下さい。インサータ式前板取付具ZSF3902は $10\text{mm} \pm \begin{smallmatrix} 0.2 \\ 0.1 \end{smallmatrix}\text{mm}$ ・深さ12mmの下穴2ヶをあけて奥まで差し込んでから取り付けてください。
11. ギャラリーパイプを取り付ける場合は前板側の正確な位置に $10\text{mm} \pm \begin{smallmatrix} 0.2 \\ 0.1 \end{smallmatrix}\text{mm}$ ・深さ12mm以上の穴をあけてください。
12. ご使用の前提となる場所はキッチンなどの室内です。戸外や浴室では使用できません。
13. 引き出しが全開されたときにキャビネットがバランスをくずし倒れる可能性があります。施工時には、必ずキャビネットを固定するなどの対策を施してください。
14. 建築物の引渡し前にホルムアルデヒドや閉鎖空間での湿気等の特別の原因で発生した錆につきましては、責任を負いません。
15. キッチンでの使用上の注意にもかかわらず、調味料や洗剤等が表面に付着したままになっていた事により発生したと推定される錆については責任を負いません。

2.取り付け上の注意事項

- 1.キャビネット側レールは側板の先端からカタログ及び取扱説明書の指示どおりに取り付けてください。
- 2.底板、背板、前板の切断寸法はカタログ及び取扱説明書を参照して正確な寸法を出してください。

3. 底板、背板の厚みは 16mmとしてください。
4. キャビネット側レールのネジは 4 × 15mm以上の木ネジか 6mmのシステムネジをご使用下さい。木ネジの下穴をあける場合の穴径は 3 mm以下で深さは 2mmにとどめて下さい。システムネジの下穴は 5 ± 0.1 mmにしてください。大きな下穴はネジの保持力が弱くなりゆるみの原因となります。
5. キャビネット側レールのネジ穴は左右それぞれレールの手前のネジ穴 2ヶ所、後ろのネジ穴 2ヶ所の 4ヶ所を止めてください（558 受レール 30kg の場合）、559 50kg と 556 65kg は別紙「受レールネジ止め位置」に従って、不足のないようにネジ止めしてください。
6. キャビネット側レールは天板及び地板に平行になるように取り付け、施工後に床面に対し水平レベルが出ていることを確認してください。
7. 側部は底板の下から 3.5 × 15mm以上の木ネジで L=270 ~ 450mmは左右 2ヶ所ずつ、500mm以上は前後及び中間左右 3ヶ所ずつを止めてください。この際、底板と側部の間に隙間が発生しないように、ブルム社製引き出し組立て治具ボックスフィックス等を使用し、両側から押さえつけるようにしてビス止めして下さい。ビス止め後に隙間が発生していないか確認して下さい。
8. 背板は木製背板取付具に 3.5 × 16mm以上の木ネジで左右 2ヶ所ずつ止めて下さい。この際、背板と木製背板取付具の間に隙間が発生しないように、ブルム社製引き出し組立て治具ボックスフィックス等を使用し、両側から押さえつけるようにしてビス止めして下さい。ビス止め後に隙間が発生していないか確認して下さい。
9. 前板取付具木ネジ用 ZSF3502 は 3.5 × 20mmの木ネジで上下を止めてください。
10. 前板取付具打込み式 ZSF3602 は $10\text{mm} \pm 0.1\text{mm}$ の下穴 2ヶをあけて打込んで下さい。インサータ式前板取付具 ZSF3902 は $10\text{mm} \pm \begin{smallmatrix} 0.2 \\ 0.1 \end{smallmatrix}\text{mm}$ ・深さ 12mmの下穴 2ヶをあけて奥まで差し込んでから取り付けてください。
11. 前板の取付は、前板取付具を引き出し側部の連結部に当て、押しこむとパチンという音がして取り付けられます。音がしない場合は再度やりなおして下さい。この際前板と引き出しの間に指などを挟まないように気を付けてください。けがをすることがあります。
12. ギャラリーパイプを取り付ける場合は前板側の正確な位置に $10\text{mm} \pm \begin{smallmatrix} 0.2 \\ 0.1 \end{smallmatrix}\text{mm}$ ・深さ 12mm以上の穴をあけてください。ギャラリーの後部についている取付部を木製背板取付具（またはスチール背板）の連結部にしっかり差し込んでください。そして、正確に取り付けられているか手で引っ張って確認して下さい。木製背板取付具（またはスチール背板）は側部にしっかり差し込んでください。そして、正確に取り付けられているか確認して下さい。
13. ギャラリー付の引き出しを持ち上げる時はギャラリーパイプを持たずに引き出し部をしっかり保持してください。ギャラリーパイプを持つとギャラリーパイプが引き出しから外れ引き出しが落ち、ケガをすることがあります。

14. 引き出しをキャビネットに取り付けた後は必ず何度か開閉してみて正確に取り付けられているか、がたつきが無い、異音がないか確認して下さい。正確に取り付けられていないと使用中に引き出しが外れケガをするおそれがあります。
15. タンデムボックスプラスブルモーションには引き出しダンパー装置が内蔵されておりますが、引き出しの重さやスピード・レールの長さにより効果は異なります。引き出しを閉める際には、指などを挟まないように注意して下さい。
16. タンデムボックスプラスブルモーションは引き出し（内容物を含む）の重量や引き出しに上部から力が加わることによって下がりが発生します。（別添テストレポート参照）またこの下がり量は引き出し（内容物を含む）の重さ、上部から加わる力によって変化しますので、一概に決まった安全寸法はありません。特にケコミ収納用引き出しについては、施工後に、床面との間に引出の間口と大きさ、引き出しに加えられると予測される力に応じた十分なクリアランスが取られているか確認して下さい。前板や引き出しが下がって床を傷つけることがあります。また、万一引き出しが下がり床に当たっても床に傷が付かない仕様としてください。引き出しの下がりによる床面の損傷等については責任を負いません。
17. 脇カバーを外すときは、指を傷つけないように注意して下さい。
18. 取り付けの際使用する木ネジは必ず木部の強度にあったトルクで締めてください。トルクが強すぎたり、廻し過ぎるとネジの保持力が低下し引き出しや前板が落下し事故の原因となります。各取り付けねじの外れによる事故については保証の範囲外です。
19. 木部は必ず十分な引き抜き強度のあるものを使用して下さい。
20. 引き出しが全開されたときにキャビネットがバランスをくずし倒れる可能性があります。施工時には、必ずキャビネットを固定するなどの対策を施してください。
21. 建築物の引渡し前にホルムアルデヒドや閉鎖空間での湿気等の特別の原因で発生した錆につきましては、責任を負いません。
22. 引き出しを組み立てたり、キャビネットに取り付けたり取り外したりする際に、引き出しや工具でケガをする恐れがあります。十分に注意して下さい。
23. 施工の際に引き出しを取り外した際には、キャビネット側レールをキャビネット内に収納して下さい。また、キャビネット内に入り込んで作業する際には引き出し部品等でケガをしないように十分に注意して下さい。

3.エンドユーザーの方への取扱注意事項

1. 警告

タンデムボックスプラスブルモーションの動荷重は引き出し本体を含み 30Kg (50Kgタイプの場合は 50Kg) です。（側板レール、底板、前板、背板を含む）
これ以上の荷重がかからないよう取扱説明書などに明示してください。引き出しが外れケガをしたり、スムーズに開閉しなかったり、引き出しが下がって床などを傷つけるおそれがあります。

2. 警告

タンデムボックスプラスブルモーションには引き出しダンパー装置が内蔵されておりますが、引き出しの重さやスピード・レールの長さにより効果は異なります。引き出しを閉める際には、指などを挟まないように注意して下さい。

3. 警告

引き出しの上に乗らないで下さい。引き出しが外れケガをしたり、引き出しが下がって床などを傷つけるおそれがあります。特にお子様にはご注意下さい。

4. 警告

引き出しに寄りかかったり、ぶら下がったり、体重をかけたりしないで下さい。引き出しが外れケガをしたり、引き出しが下がって床などを傷つけるおそれがあります。特にお子様にはご注意下さい。

5. 警告

引き出しの収納物は、レールのスムーズな走行のためになるべく荷重が均等になるように入れてください。開いた引き出しの上で調理しないで下さい。引き出しが破損したり、引き出しが動いてケガをするおそれがあります。

6. 警告

引き出しを開いたままで作業しないで下さい。引き出しに当たり転倒したり、引き出しに当たってケガをしたり、引き出しが破損して落下するおそれがあります。特にお子様にはご注意下さい。

7. 警告

開いた引き出しの下に入りこまないで下さい。特にお子様が開いた引き出しの下で遊ばないようにご注意下さい。引き出しに頭をぶつけたり、引き出しにはさまれたり、万一引き出しが外れた場合にケガをする恐れがあります。

8. 警告

9. 引き出しの前板が傾いたり、ガタついているときは脇カバーを外し、前板調整ネジをきつく締めなおして下さい。このネジが緩むと引き出しの前板が落ちてケガをする恐れがあります。また、脇カバーを外すときには指を傷つけないよう注意して下さい。

10. 警告

長年の使用で引き出しがガタついている時は、引き出しを外し受けレールの取り付けネジを締めなおして下さい。引き出しが落ちてケガをしたり、床を傷つけることがあります。引き出しを取り外すときは、引き出しを落とさないようしっかりと引き出し側部を保持して下さい。この際ギャラリパイプ付引き出しの場合は、ギャラリパイプ部分は持たないで下さい。外れて引き出しを落としてケガをすることがあります。また、引き出しをキャビネットに取り付けた後は必ず何度か開閉してみて正確に取り付けられているか、がたつきが無いのか、異音がないか確認して下さい。正確に取り付けられていないと使用中に引き出しが外れケガをする恐れがあります。

11. 警告

引き出しは必ず扉の取っ手部を持ってやさしく開閉して下さい。引き出しの下部を持って開閉すると、引き出しに指などを挟みケガをする事があります。

12. 警告

引き出しを開閉するときには、引き出しの下に人がいないことを確認し引き出しに指等をはさまないように気をつけて下さい。また、ケコミ部分の引き出しを開閉する際には、足などを引き出しと床の間に挟まないよう注意して下さい。引き出しにはさまれてケガをするおそれがあります。

13. 警告

引き出しは全開します。隣や対面するキャビネットや壁、人体などに当てないように気を付けてください。扉や取っ手等に傷が付いたりケガをすることがあります。

14. 警告

引き出しは全開したら、それ以上は無理に引き出さないで下さい。引き出しが外れたり破損するおそれがあります。

15. 警告

引き出しは全開しますので引き出しを開く時には転倒しないよう体のバランスを保つようにして下さい。

16. 警告

引き出しに衝撃を与えないで下さい。引き出しが破損して落下してケガをしたり、引き出しに傷が付いたり変形するおそれがあります。

17. 警告

引き出しを分解したり改造しないでください。引き出しが外れてケガをするおそれがあります。

18. 警告

一度に2つ以上の引き出しを開いたままにしないでください。キャビネットが引き出しの内容物の重量で傾いて倒れるおそれがあります。

19. 警告

引き出しを、調整したりキャビネットに取り付けたり取り外したりする際に、引き出しや工具でけがする恐れがあります。十分に注意して下さい。

20. 警告

引き出しを取り外した際には、キャビネット側レールをキャビネット内に収納して下さい。また、キャビネット内に入り込んで作業する際には引き出し部品等でケガをしないように十分に注意して下さい。

21. 注意

使用の前提となる場所はキッチンなどの室内です。戸外や浴室では使用できません。

22. 注意

引き出し側部にテープなどを貼らないで下さい。表面が変質するおそれがあります。

23. 注意

引き出しの上に水や食品、調味料等をこぼさないで下さい。万が一こぼした場合はすぐに乾いた布できれいにふき取ってください。光沢がなくなったり、表面を痛めます。キッチンでの使用上の注意にもかかわらず、調味料や洗剤等が表面に付着し

たままになっていた事により発生したと推定される錆については責任を負いません。

24. **注意**

引き出しは常にきれいにしておいて下さい。

25. **注意**

お手入れの際は柔らかい布でからぶきして下さい。タワシなどは使用しないで下さい。洗剤、ワックス、漂白剤、硫酸、塩酸等の酸類、シンナー、アルコール、アセトン、ペイント除去剤などの溶剤、アルカリ類は絶対に使用しないで下さい。変色や錆の発生、光沢がなくなる等のおそれがあります。

26. **注意**

市販のシンクのゴミカゴ用ヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ引き出しが錆びる場合があります。使用しないで下さい。